

【子どもたちの 優しい言葉 すてきな発見】

(あさがおの伸びたつと見た 1 年生)「ラーメンにして食べたいな」

「クワガタの角がフラワーロードに落ちていたんだよ!!」(大事に袋に入れて見せてくれた 6 年生)

(廊下の剥がれた模様を見た 2 年生)「犬が、お餅を食べてるみたい。ここがしっぽで～」

【生活科と総合的な学習の時間で 子どもたちの瞳が輝きます】

2 年 3 組では教室でカナヘビを育てています。そのカナヘビが卵を産みました。どうしたら孵化できるか調べ、クラス全員で大切に見守っています。私も朝のあいさつの時に毎日見せてもらっています。たくさんの子が様子を話してくれます。30日ほどで孵化するそうです。カナヘビの赤ちゃんを見たことがないので、私もとても楽しみです。産まれた赤ちゃんカナヘビを見て、子どもたちがどんな笑顔になるのか今からとっても楽しみです。



3 年 1 組では総合的な学習の時間に、北小のすぐ近くにある大星神社へ地域探検に行きました。私も一緒に行かせてもらいました。クロームブック(一人1台端末)を持って、気に入ったものをどんどん写真に撮っていました。子どもたちの興味・関心は実に多様で、地面にアリの巣を見つけ、そこから出てくるアリを写真に収めている子もいました。その場ですぐに記録できる良さを感じました。

探検の途中で偶然、大星神社の総代さんが用事でお見えになりました。「お社の中をみるかい?」と言って、鍵を開けてくださり、中に入って見学することができました。子どもたちは興味津々。素敵な出会いがあり、とてもありがたいことだと思いました。

